

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ナナオ

コード番号 6737 URL <http://www.eizo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 実盛 祥隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 秋常 樹一郎

TEL 076-275-4121

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	21,017	25.7	2,972	642.6	3,169	403.9	2,050	
21年3月期第1四半期	16,719		400		629		178	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	91.85	
21年3月期第1四半期	7.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	69,622	53,088	76.3	2,378.39
21年3月期	65,620	50,689	77.2	2,270.88

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 53,088百万円 21年3月期 50,689百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		40.00		30.00	70.00
22年3月期					
22年3月期 (予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	36,000	14.1	2,300	51.2	2,300	51.1	1,400	41.1	62.72
通期	75,000	0.6	5,000	16.2	5,000	17.8	3,000	339.8	134.40

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 社 (社名) 除外 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご参照ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	22,731,160株	21年3月期	22,731,160株
期末自己株式数	22年3月期第1四半期	409,884株	21年3月期	409,884株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	22,321,276株	21年3月期第1四半期	22,565,682株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ[連結業績予想に関する定性的情報]をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業の在庫調整が進み輸出や生産がやや持ち直し、景気は底入れしつつありますが、雇用・所得環境は依然厳しく、景気は先行き不透明な状況が続いております。

当社が属するモニター関連市場は、景気の悪化により市場環境は厳しい状況が続いており、新たな需要を創出するために環境に配慮した製品や、利用スタイルの多様化に合わせた製品開発が求められております。

このような状況下、コンピュータ用モニターにおいては、在庫調整は終息の兆しがあるものの、実需の回復には時間を要する見込みで、販売は低調に推移しました。一方、アミューズメント用モニターは、当第1四半期より販売を開始した新機種が好調に推移しました。この結果、全体の売上高は、21,017百万円(前年同期比25.7%増)となりました。

利益面については、アミューズメント用モニターの増収に加え、不要不急経費の削減、のれん償却費負担の減少に伴い販売費及び一般管理費が減少したこと等により、営業利益は2,972百万円(同642.6%増)、経常利益は3,169百万円(同403.9%増)、四半期純利益は2,050百万円(同1,050.8%増)となりました。

製品別売上高の状況は以下のとおりです。

コンピュータ用モニターの売上高は、7,510百万円(前年同期比35.0%減)となりました。主に、汎用モニターにおいて、経済環境の悪化による設備投資需要の落ち込みにより、販売が低調に推移したことによりです。

アミューズメント用モニターの売上高は、当第1四半期より販売を開始した新機種が好調に推移したことにより、11,970百万円(同262.8%増)となりました。

その他の売上高は、主に周辺機器やゲームソフトの販売が順調でしたが、保守サービス関係の売上が減少したことにより、1,537百万円(同18.0%減)となりました。

(ご参考) 販売の状況

販売実績を品目別に示すと、次のとおりです。

品目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)		増減 金額(百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
コンピュータ用モニター	11,546	69.1	7,510	35.7	△4,036
アミューズメント用モニター	3,298	19.7	11,970	57.0	8,671
その他	1,874	11.2	1,537	7.3	△336
合計	16,719	100.0	21,017	100.0	4,297

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産及び負債の状況は、前連結会計年度末と比較し、主に受取手形及び売掛金、たな卸資産が減少しましたが、現金及び預金、有価証券、及び投資有価証券等が増加したことにより、資産の部は4,001百万円増加し、69,622百万円となりました。

負債の部は、賞与引当金が減少しましたが、未払法人税等やその他流動負債が増加したこと等により、1,602百万円増加し16,533百万円となりました。純資産の部は、四半期純利益を計上したことに加え、その他有価証券評価差額金の増加等により2,399百万円増加し、53,088百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

前回（平成21年5月13日）発表の平成22年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、今後の世界的な景気動向や為替相場の変動等の不確定要素が多く、現時点では見直しを行っておりません。なお、今後の状況を踏まえ、連結業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理の適用

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

・たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益計上基準の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手したソフトウェア受注制作請負契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められるソフトウェア受注制作請負契約については進行基準（進捗率の見積りは原価比例法）を、その他のソフトウェア受注制作請負契約については完成基準を適用しております。

当第1四半期連結会計期間において、進行基準を適用すべき契約はなく、全て完成基準を適用しているため、当該変更による損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,734	3,488
受取手形及び売掛金	7,994	10,746
有価証券	9,199	8,497
商品及び製品	2,946	3,403
仕掛品	2,699	2,330
原材料及び貯蔵品	6,465	10,582
その他	2,974	2,940
貸倒引当金	△187	△211
流動資産合計	44,827	41,777
固定資産		
有形固定資産	10,673	10,898
無形固定資産		
のれん	1,751	1,727
その他	704	772
無形固定資産合計	2,455	2,499
投資その他の資産		
投資有価証券	10,136	8,782
その他	1,958	2,091
貸倒引当金	△429	△429
投資その他の資産合計	11,665	10,444
固定資産合計	24,795	23,843
資産合計	69,622	65,620
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,071	7,369
未払法人税等	1,109	395
賞与引当金	510	1,084
役員賞与引当金	17	—
ソフトウェア受注損失引当金	212	105
製品保証引当金	991	1,046
その他	3,145	1,852
流動負債合計	13,058	11,853
固定負債		
退職給付引当金	1,973	1,954
役員退職慰労引当金	105	105
リサイクル費用引当金	992	962
その他	404	56
固定負債合計	3,475	3,078
負債合計	16,533	14,931

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,425	4,425
資本剰余金	4,313	4,313
利益剰余金	43,864	42,484
自己株式	△998	△998
株主資本合計	51,605	50,224
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,659	1,806
為替換算調整勘定	△1,175	△1,342
評価・換算差額等合計	1,483	464
純資産合計	53,088	50,689
負債純資産合計	69,622	65,620

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	16,719	21,017
売上原価	12,577	14,784
売上総利益	4,142	6,232
販売費及び一般管理費	3,742	3,260
営業利益	400	2,972
営業外収益		
受取利息	23	13
受取配当金	95	110
為替差益	111	62
その他	10	34
営業外収益合計	241	221
営業外費用		
売上割引	12	15
その他	0	8
営業外費用合計	13	24
経常利益	629	3,169
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	23
特別利益合計	—	23
特別損失		
固定資産除却損	2	42
特別損失合計	2	42
税金等調整前四半期純利益	626	3,150
法人税、住民税及び事業税	66	1,031
法人税等調整額	382	68
法人税等合計	448	1,100
四半期純利益	178	2,050

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	626	3,150
減価償却費	508	425
のれん償却額	118	49
引当金の増減額(△は減少)	△706	△493
売上債権の増減額(△は増加)	△1,659	2,790
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,547	4,273
仕入債務の増減額(△は減少)	2,145	△312
その他	558	937
小計	44	10,820
利息及び配当金の受取額	118	123
法人税等の支払額	△2,163	△280
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,001	10,664
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△332	△176
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△999	△1,019
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,298	2,396
その他	2	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30	1,209
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△996	—
配当金の支払額	△909	△670
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,906	△670
現金及び現金同等物に係る換算差額	96	43
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,841	11,246
現金及び現金同等物の期首残高	13,108	9,887
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,266	21,134

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。